



ふじあざみ

FUJI SABO news

No.

97

平成28年3月17日

富士山

火山噴火緊急減災対策砂防計画

(基本編)

～ 火山噴火に向けた取り組み ～



国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画」とは

富士山の噴火に伴う土砂災害を軽減（減災）することを目的に、ハード対策とソフト対策をとりまとめたもので、噴火発生時の緊急時だけではなく、平常時からの準備対策なども含めて考えた計画です。

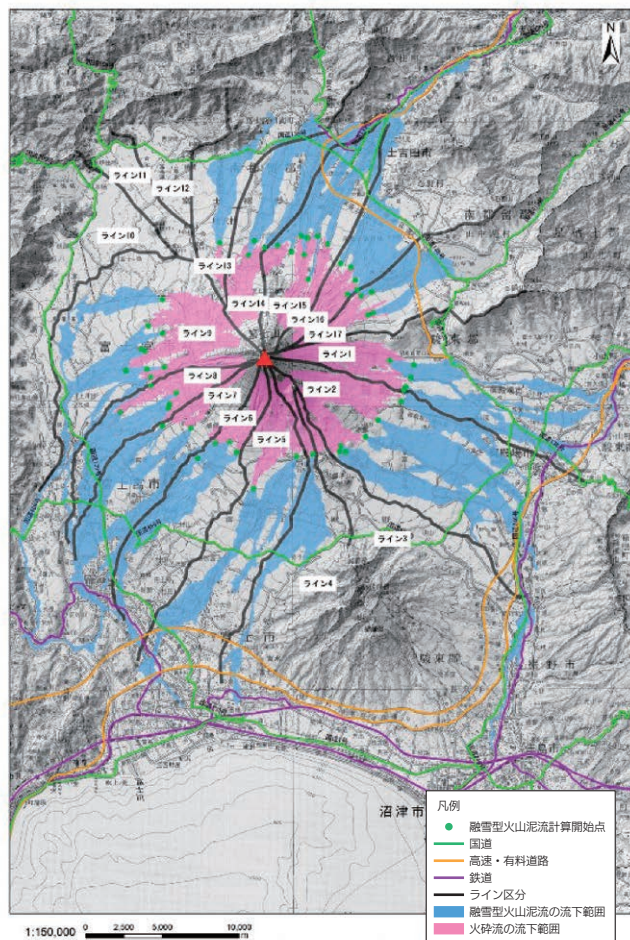
今回、富士砂防事務所、静岡・山梨両県が策定した「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画（基本編）」は、計画の基本的な方針をとりまとめたものであり、主に「対策すべき土砂移動現象の決定」「対策の考え方」「緊急時に実施するハード・ソフト対策の概要」の3つの柱からなっています。

対策すべき土砂移動現象の決定

富士山の火山現象は、いつ・どこで発生するかの予測も難しく、全ての現象・規模に対して対策を立てることは、大変困難です。

従って、「基本編」では、火山現象の中でも、溶岩流、融雪型火山泥流、降灰後の土石流の3つの土砂移動現象に対して噴火シナリオを策定し、とりまとめています。

シナリオは、富士山で発生した過去約3,200年間の噴火を基に、噴火規模などにより7つのケースにモデル化し検討しています。



対策の考え方

ハード対策については、段階的な目標を定めて整備を進め、噴火時等には緊急的な対策を実施します。ソフト対策については、より規模の大きい噴火を含めた土砂移動現象に対して、できる限りの減災対応に取り組みます。

緊急時の減災対策は、緊急時に対策を実施する期間を、噴火の前後数週間～2、3カ月と想定し、限られた時間に限られた資機材を用いて、緊急ソフト対策と緊急ハード対策を、迅速かつ効果的に実施します。

基本編では噴火シナリオの時系列に沿った緊急ソフト対策・緊急ハード対策の実施タイミングについて整理しました。ただし、火山活動の予測は難しいことから、現象の推移に応じて柔軟に対応します。

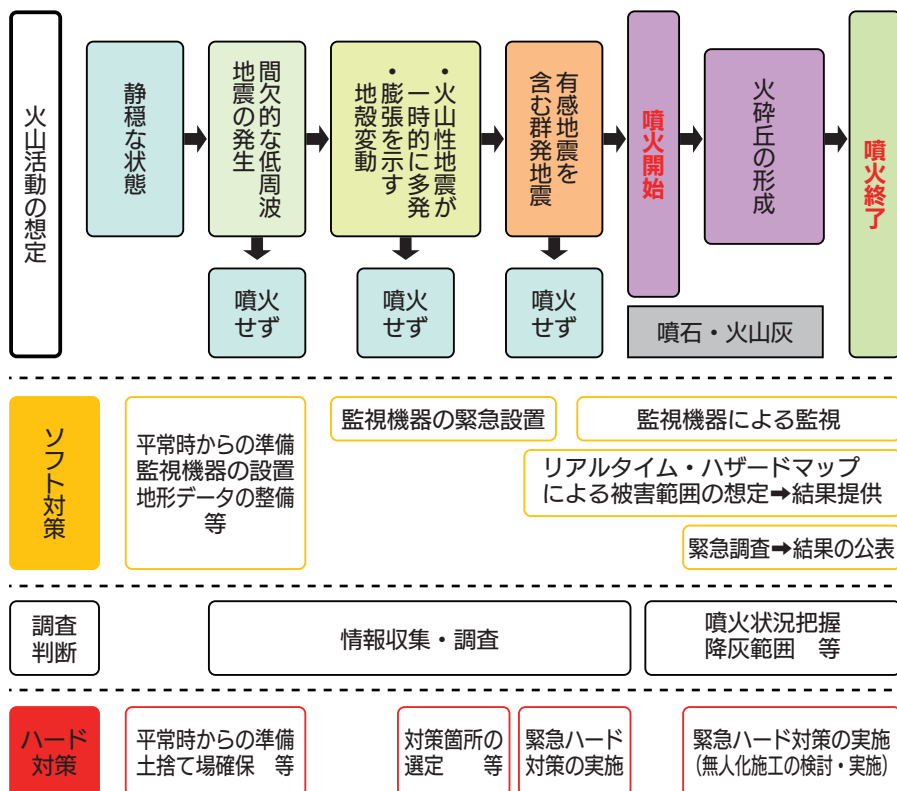


図2：想定される噴火シナリオと主な対策メニューの実施のタイミング

富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画（基本編）を発表

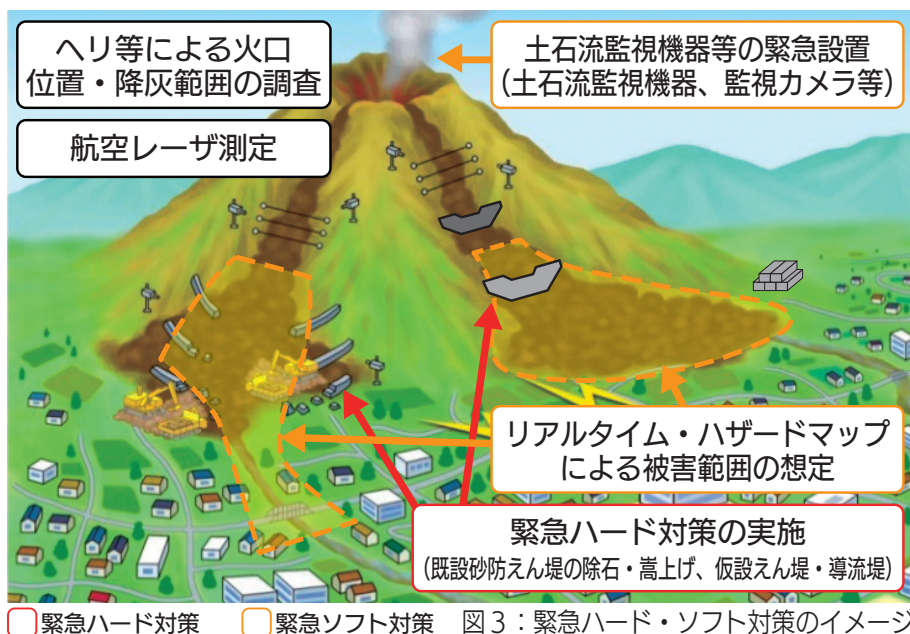
緊急時に実施するハード・ソフト対策の概要

1. 緊急ソフト対策の概要

ソフト対策は、火山活動の推移に応じて以下の対策などを実施します。

- 監視機器などの緊急的な設置
- リアルタイム・ハザードマップによる被害範囲の想定
- 土砂災害防止法に基づく緊急調査

また、富士山の状況把握や緊急ハード対策を実施する上での安全管理、広域避難計画と連携した関係機関への情報提供を行います。



2. 緊急ハード対策の概要

ハード対策については、以下の対策などを実施します。

- 既存の砂防設備の除石、嵩上げにより捕捉できる溶岩や土砂量の増加を図ります。
- 砂防設備がない場所では、仮設えん堤や仮設導流堤などの対策を検討します。
- 土石流の発生の恐れにより、立ち入りが難しい場所では、無人化施工の活用も検討します。



写真1 仮設えん堤の例（H26御嶽山）

実効性向上に向けた取り組み

本計画をより確実に実行できるよう、平常時から以下の対応をします。

1. 緊急ソフト・ハード対策を実施する上での準備
2. 関係機関との連携や情報共有の強化
3. 富士山噴火を想定した防災訓練の実施
4. 富士山噴火に対する防災教育と広報

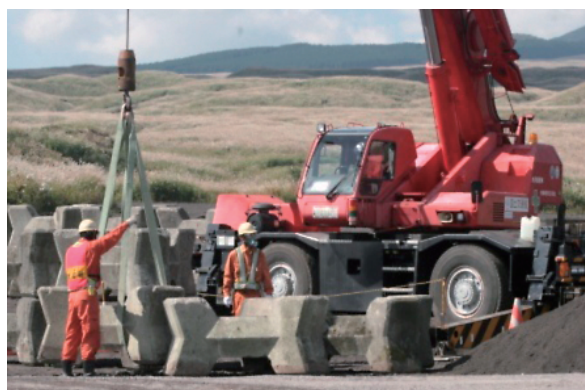


写真2 富士山火山三県合同防災訓練（H26.10）

「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画（対策編）」の策定に向けて

今後は、「対策施設の配置計画」、「必要な資機材の備蓄計画」、「関係機関の詳細な役割分担」などの検討を進めます。



写真3 立体模型を用いた防災教育

技術者インタビュー

富士砂防事務所は富士山山麓で砂防工事、由比（静岡市）で地すべり対策工事を進めております。今回、その現場で働く地元技術者2人に昨年入省した阿部事務官と大橋技官がインタビューを行いました。

大橋：おはようございます。調査課の大橋です。
今日は地元の建設業へ入った理由や、建設業の魅力について教えていただきたいと思っています。

古屋：きっかけは父が建設業に就いていたことです。最初は事務職で入ったのですが、自分の子供に「お母さんが作った！」と言いたくて、現場に飛び込みました。

望月：自分が育った場所で「ものづくり」がしたかったからです。やっぱり、目に見えて「もの」が出来ていく達成感があります。

阿部：用地課の阿部です。古屋さんに質問ですが、女性の技術者だから現場でこれが出来ると思う部分はありますか？

古屋：私も男性の仕事だと思っていましたが、現場の環境改善の面などでは、女性の方が得意なこともあると感じています。

阿部：建設業に入る前と後では、持っていたイメージは変わりましたか？

古屋：男の仕事という気持ちはなくなりましたね。女の人だから出来ることはあると思います。

望月：思っていた通りでした。とても楽しいです！

大橋：最後に今後の目標や建設業のアピールを聞かせてください。

古屋：早く、1人で現場を任せてもらえるようになりたいです。

望月：ものづくりは楽しいし、やりがいがあります。建設業のイメージに囚われずに来てもらいたいです。



富士砂防事務所でのインタビュー風景
(手前 右が望月さん、奥が古屋さん)



古屋さん

(風祭第1砂防えん堤工事現場)

- 会 社：(株)小松建設
- 出身地：静岡県富士宮市
- 趣味、休日の過ごし方：
ゴルフを始めました。
母と仕事終わりに楽しんでいきます。



望月さん

(由比地区深礎杭SA13工事現場)

- 会 社：静鉄建設(株)
- 出身地：静岡県静岡市
- 趣味、休日の過ごし方：
週末はライブを行ったり、音楽活動をしています。

インタビューを終えて

事務官である私は普段現場で働く人と触れる機会が少ないので、今回この様なインタビューの場で直接話を聞かせて頂き良い勉強になりました。お二方とも自分の仕事に対してとてもやりがいを感じているということが伝わってきました。今後も建設業について少しでも知るきっかけになる場が増えれば良いなと思います。

阿部

現場で働くお二方がこういった気持ちで働いていらっしゃるか、よくわかりました。「ふじあざみ」を手にとってくださいましたあなたも、古屋さんや望月さんのような現場の熱意を感じてみてください！富士砂防事務所は現場見学の申込をお待ちしております（詳しくは富士砂防HPをご覧ください）。

大橋

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100 TEL 0544-27-5221 担当/調査課
URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/> E-mail cbr-fujisabo@mlit.go.jp

■富士宮砂防出張所 〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9 TEL 0544-54-0236

■由比出張所 〒421-3211 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8 TEL 054-389-1202

★現場見学などについては、富士砂防事務所HPの「富士砂防現場見学と出前講座」の欄をご覧ください。

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基本にしています。
今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。